

[13] 延岡市小体連

(学校数27校 児童数6,352名)

I 年間事業

	事業名	事業内容	会場
5月7日(火)	第1回理事会	○ 会計予算審議 ○ 活動計画及び事業計画審議 ○ 役員選出	恒富小
6月14日(金)	第2回理事会	○ 器械運動教室内容審議 ○ 本年度の研究計画について	恒富小
7月24日(水)	器械教室運動前日準備	○ 器械運動教室会場設営 ○ 指導方法確認	東小
7月25日(木)	令和元年度 延岡市器械運動教室		東小
8月21日(水)	第3回理事会	○ 陸上教室について審議 ○ 器械運動教室反省 ○ 授業研究会事前研	恒富小
10月15日(火)	陸上教室前日準備	○ 会場設営 ○ 役員打合せ	西階陸上競技場
10月16日(水)	令和元年度 延岡市陸上教室	○ 100m、50mH、走り幅跳び、走り高跳び、ジャベリックボール投げ、800・1000m、4×100mリレー ○ 模範走(岡富中学校陸上部)	西階陸上競技場
11月25日(月)	第4回理事会	○ 研究授業 走・跳の運動 4年生 ○ 授業研究会	延岡小
3月6日(金)	第5回理事会	○ 年間事業反省	恒富小

II 事業部のあゆみ

1 器械運動教室

(1) 大会名 令和元年度延岡市器械運動教室

(2) 期 日 令和元年7月25日(木)

(3) 会 場 延岡市立東小学校

(4) 参加者 延岡市立の小学校に通う3・4年生の希望児童 66名

(5) 内 容 延岡商業高校生徒及びさくら体操クラブによる模範演技
マット運動(前転・後転) 跳び箱(開脚跳び)

(6) 実施方法 ○ 66名の児童を12班に分け、少人数での実技指導を行う

(7) 日 程 ○ 開講式 9:00

○ 模範演技 9:15

○ 実技指導 9:55

○ 閉講式終了 12:00

(8) 表 彰 参加児童全員に、修了証を配付する

(9) 反 省 (成果と課題)

○ 苦手な児童に対し、どのような指導が効果的か分かったという意見があった。

○ 参加児童を前転・後転及び跳び箱(開脚跳び)ができない児童としたところ、例年よりも参加人数が減った。児童が少なくなった分、一人一人に対しての指導が充実し、児童の力が伸びたと感じた。

● 熱中症対策として、例年屋外で行っていた鉄棒運動を廃止し体育館内での運動を行ったが、水分補給の時間を十分に確保したり、扇風機の数を増やしたりと今後も改善していかなければならない課題があった。

2 陸上教室

- (1) 大会名 令和元年度延岡市小学校陸上教室「オリンピックゲームズ」
- (2) 期 日 令和元年10月16日(水)
- (3) 会 場 西階陸上競技場
- (4) 参加者 延岡市立の小学校に通う6年生児童(一部5年生児童を含む)
- (5) 種 目
 - 100m(選抜・一般) ○ 50mハードル(選抜)
 - 800m(選抜女子) ○ 1000m(選抜男子)
 - 走り幅跳び(選抜男子・女子) ○ 走り高跳び(選抜男子・女子)
 - ジャベリックボール投げ(選抜男子・女子)
 - 4×100mリレー(選抜男子・女子)
- (6) 実施方法
 - 宮崎県小学校体育連盟標準記録認定要領及び、陸上競技ルールブックに則って行い、一部ローカルルールを採用する。
 - 延岡市の小学校27校を集め、1日開催で行う。
- (7) 表 彰 各種目の上位3名を表彰する。
- (8) 反省(成果と課題)
 - 延岡市陸協の協力もあり、素晴らしい競技場で活動できたことや電気時計による記録の測定など陸上競技の醍醐味を味わい、多くの学校の児童と競い合えたことがよい刺激となった。
 - 岡富中学校の陸上部に模範走を依頼した。陸上の魅力を語ってもらったり、実際の走りなどを見たりして、刺激を受ける児童が多数いた。
 - 運動会後ということで、十分な練習時間が確保されないまま大会に臨む学校が多数あった。怪我の心配もあるので、今後実施内容について小体連で検討していく必要がある。

3 体力向上の取組

- (1) 期 日 令和元年12月～2月
- (2) 対 象 延岡市内の小学校に通う児童
- (3) 内 容 なわとび運動(8の字跳び、二重跳び)
- (4) 取組内容
 - 延岡市小体連なわとびカードの活用
 - 延岡市なわとび大会の実施
- (5) 成果と今後の見通し
 - 「延岡市なわとび大会」を行い、校内及び学校間で競い合いながら体力を高めている。延岡市全体でなわとび運動に取り組んで7年目となる。昨年度の反省から、体づくり運動における内容が縄跳びを使った運動に偏りが見られる学校もあるということで、体育の授業の準備運動として縄跳びを行ったり、昼休みに練習を行ったりすることの共通理解を図った。学校によっては「縄跳びチャレンジ」と称して学校で賞状を準備し、体力向上を目指すだけでなく、学校の一体感を高める取り組みを行っているところもある。
なわとび運動に取り組む7年目ということで、今までに様々な反省が上がっている。今後、体力向上の取り組みとして、なわとびだけではなく様々な取組を模索していく必要がある。

III 研究部の歩み

1 本年度研究主題

**健やかな心と体を育み、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習の在り方
～探求的・協働的な学びのある「陸上運動」の指導の工夫と年間指導計画の作成を通して～**

2 研究の基本的な考え方～探求的・協働的な学びのある体育科学習とは
延岡市小体連では、探求的・協働的な学習を以下のように捉えている。

○ 探求的な学習とは

運動やスポーツの楽しさや健康の意味及びそれらの価値をふまえ、運動や健康についての自らの課題に気付き、その課題解決に向けて試行錯誤を繰り返しながら学びを進めること

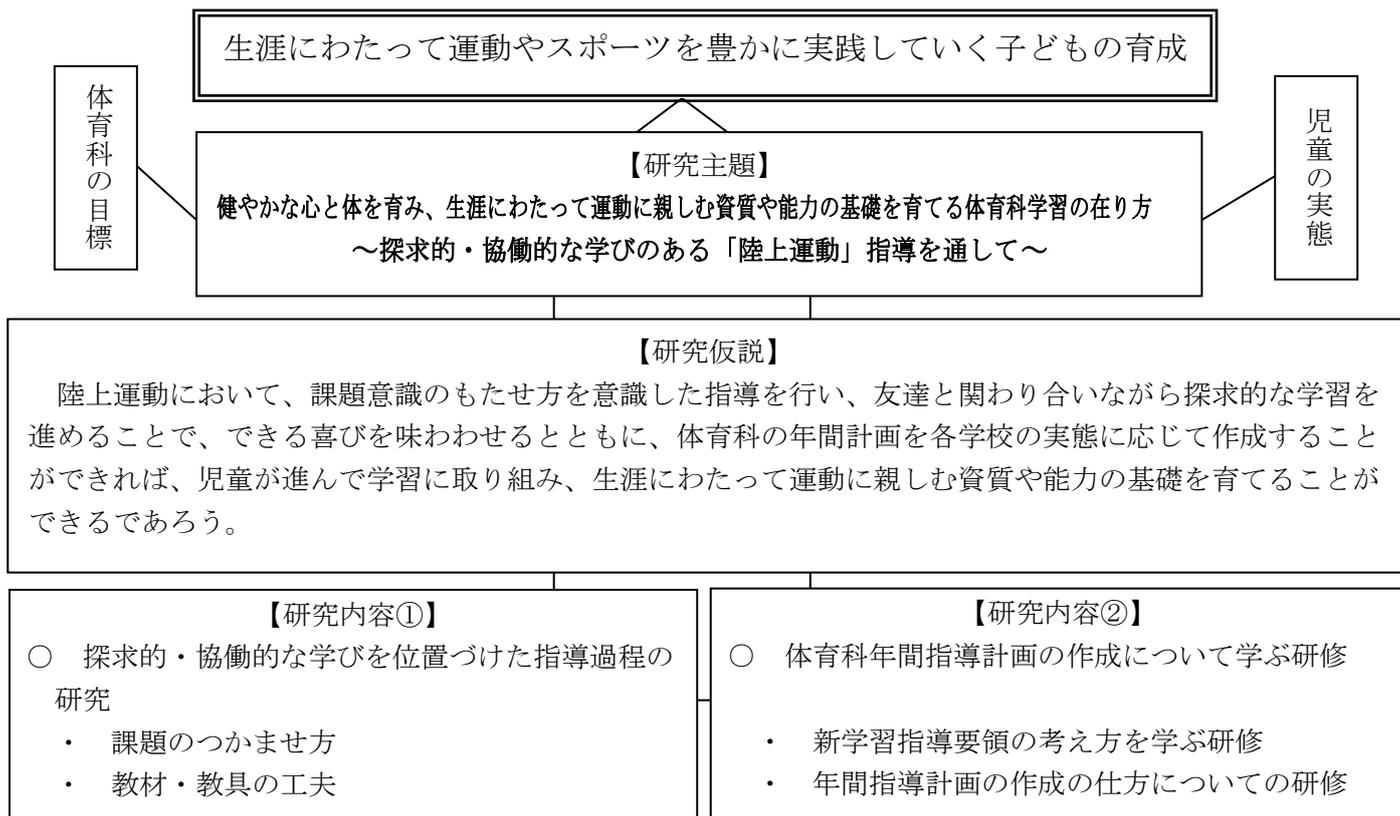
○ 協働的な学習とは

運動・スポーツや健康について、自らの課題の解決に向けて児童同士、児童と教師、さらに児童と知識がかかわり合いながら、話し合ったり、教え合ったりして学びを深めていくこと

3 年間指導計画の作成を副題に入れた理由

令和2年度から新学習指導要領が完全実施されることになる。延岡市小体連が目指す体育の授業（探求的、協働的な学びのある体育の授業）を実現するためには、各学校の実態に合わせた年間指導計画の見直しが大変重要であると考え、副題に取り入れた。

4 研究の構想（研究の仮説、研究内容）



4 研究の実際

(1) 授業研究会「探求的・協働的な学び」を意識した授業づくり

令和1年11月25日（月）に授業実践を行い、研究仮説の検証を行った。

領域	単元名	学年	授業者
陸上運動	投の運動	6学年	延岡小学校 南崎 省吾 教諭

高学年の陸上運動は、児童の実態に応じて、投の運動を取り扱うことができる領域である。陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにし、中学校の陸上運動の学習につなげていくことが求められる。遠投のためのオーバーハンドスローは、体重移動や体幹の回

転など、複数の動きが組み合わさって成り立つ運動である。

本単元は4時間で計画され、3時間目の授業を研究授業として設定した。単元計画は【資料1】である。

主運動につながる運動として、バウンドボール投げ、バンダナボール投げを行った。展開では自分の課題に合わせて、児童が運動できるように3つの場を設定した。肘を高く上げるなどフォームに課題がある場合は、ロースローコース

	【ねらい1】「遠くに」投げるための練習の仕方を知る。...	【ねらい2】「自分の課題に合わせて」投げる練習をしよう。...	【ねらい3】これまでの学習を活かして自分の記録を伸ばそう。...
1 準備体操を行う。...	1 準備体操をして、ボール投げ運動を行う。 ○ バウンドボール投げ。 ○ バンダナボール投げ。	1 準備体操をして、ボール投げ運動を行う。 ○ バウンドボール投げ。 ○ バンダナボール投げ。	1 準備体操をして、ボール投げ運動を行う。 ○ バウンドボール投げ。 ○ バンダナボール投げ。
2 投げる運動に触れる。 ○ キャッチボール。	2 本時の学習の進め方を確認する。...	2 本時の学習の進め方を確認する。...	2 本時の学習の進め方を確認する。...
3 正しい投げ方について知り、ゴールイメージをもつ。	3 「遠くに」投げるための練習の仕方を知る。 ○ 的倒しコース。 ○ ロースローコース。 ○ 遠投コース。	3 「遠くに」投げるための練習を行う。 ○ 的倒しコース。 ○ ロースローコース。 ○ 遠投コース。	3 「遠くに」投げるための練習を行う。 ○ 的倒しコース。 ○ ロースローコース。 ○ 遠投コース。
4 ボールを投げるときの4つのポイントと、投げるときの合言葉を確認する。	4 「遠くに」投げるための練習を行う。...	4 「遠くに」投げるための練習を行う。...	4 「6の2遠投大会」を行う。 ○ ソフトボール投げ。
5 ボール投げ運動を行う。 ○ バウンドボール投げ。 ○ バンダナボール投げ。	5 本時の振り返りを学習カードにまとめた。感想を交流する。...	5 本時の振り返りを学習カードにまとめた。感想を交流する。...	5 本時の振り返りを学習カードにまとめた。感想を交流する。...

【資料1】単元計画表

【資料2】、各部の動きを連動させて力強く腕を振るための的倒しコース【資料3】、自分の遠投力を試す遠投コース【資料4】を設定した。教え合いを促すために、課題が似ている仲間が集まり、タブレット機器でお互いの投球フォームを



【資料2】ロースローコース

【資料3】的倒しコース

撮影、確認しながら教え合うことで、探求的、協働的に学ぶ姿が見られた。【資料5】

授業後の研究会では、課題の設定の仕方についての問題や、場の設定の仕方、運動量の確保についての話し合いが行われ、体育の授業の在り方をもう一度考えていく機会となった。



【資料4】遠投コース

【資料5】学び合う姿

(2) 年間指導計画の作成について

新学習指導要領の領域や内容を踏まえて、年間指導計画の雛形【資料6】を作成し、各学校に配布した。(延岡市小体連独自のもの)夏期休業中に、作成にあたって各学校の行事や実態に合わせて、柔軟に対応できるように共通理解した。

	4月	5月	6月	7月	8.9月	10月	11月	12月	
学校行事・の行	始業式・大清掃	避難訓練(不審者)	避難訓練(不審者)	終業式・大清掃	始業式・大清掃	修学旅行	小中音楽祭	終業式・大清掃	一学期計
	入学式	運動会全体練習	体力テスト(一斉)		修学旅行	修学旅行			
	1年生歓迎集会	春の大運動会	体力テスト(個別)(種別)			陸上教室			
	学力検査	プール清掃(恒例)	指導教室			秋の遠足			
1年生	集団行動	1 (C)走の運動遊び	6 (体カテスト(各学年)	3 (D)もくもく・浮遊魚遊び	5	4 (B)マットを使った運動遊び	8 (E)鬼退治を使った運動遊び	7 (E)鬼退治	33
	安全指導	1 (F)表現遊び	4 (D)跳び箱を使った運動遊び	5	8 (C)跳の運動遊び	8 (A)跳金を使った運動遊び	7 (C)跳の運動遊び	2	
	(A)飛ぶくしの運動遊び	1 (F)リズム遊び	5						
	(A)多様な跳びを使った運動遊び	2							
2年生	集団行動	1 (C)走の運動遊び	7 (体カテスト(各学年)	3 (D)もくもく・浮遊魚遊び	6	4 (B)マットを使った運動遊び	8 (E)鬼退治を使った運動遊び	7 (E)鬼退治	42
	安全指導	1 (F)表						2	
	(A)飛ぶくしの運動遊び	2 (F)リ:							
	(A)多様な跳びを使った運動遊び	2							

【資料6】年間指導計画の雛形

5 研究の成果 (○) と課題 (●)

- 体づくり運動と投の運動の違いを考え、投球フォーム等の指導の工夫について考えられた。
- タブレット機器で撮影した自分の姿を振り返ることで、課題をつかみやすくなり、動きのポイントと比較しながら協働的に考える児童の姿が見られた。
- 年間指導計画の作成ができたことで、来年度の指導要領の改訂に備えることができた。
- 個人の課題の持たせ方と評価の仕方については、検討が必要である。
- 主体的な学びを支える年間指導計画になっているかは、検証が必要である。